

未来をつくる
あなたの一票大切に



竹原の未来を託す あなたの一票

竹原市長選挙

投票日 12月19日(日)

当日投票時間
午前7時から 午後7時 までです

みんなそろって投票にいきましょう

期日前投票のお知らせ

仕事や旅行、冠婚葬祭などにより、投票日当日に投票に行くことができない方は、期日前投票をすることができます。入場券下部の宣誓書に記入してお持ちされると受付がスムーズです。

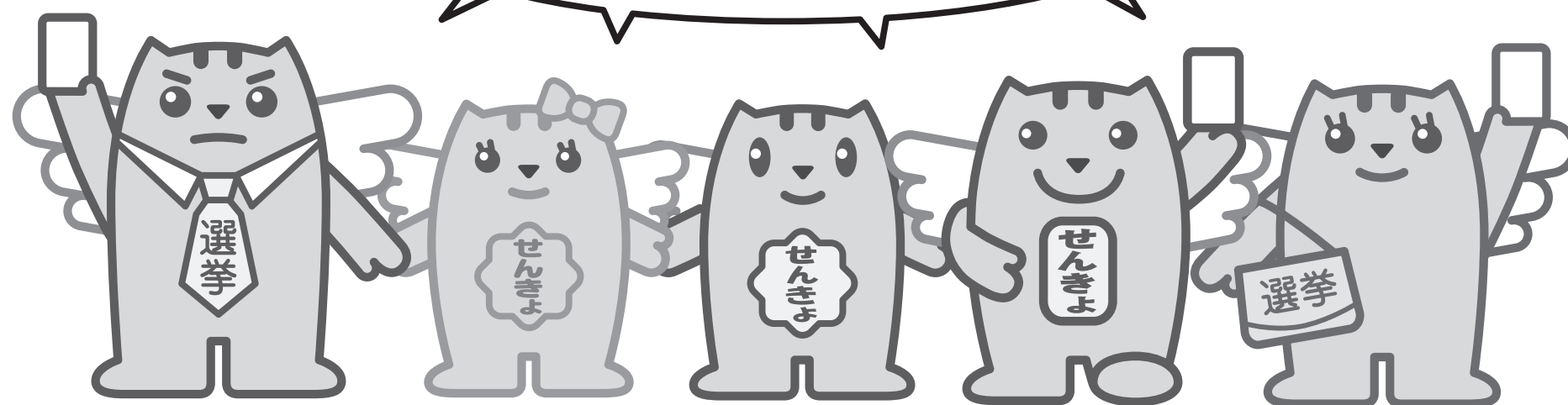
期日前投票の場所・期間・時間

設置場所	設置期間	投票時間
竹原市役所玄関ホール	12月13日(月)から 12月18日(土)まで	午前8時30分から 午後8時まで
忠海地域交流センター (忠海支所横)	12月14日(火)	午前9時から 午後7時まで

【お知らせ】

12月19日執行の竹原市議会議員補欠選挙は、届出のあった候補者が1名であったため、無投票となりました。

みんなで行こう。明るい選挙。



竹原市選挙管理委員会

令和3年12月19日執行

竹原市長選挙公報

竹原市選挙管理委員会

無所属
いまえ
今栄としひこ
(61歳)



「住みよさ」実感!!

「元氣な竹原市」の実現

竹原市長としての四年間、「西日本豪雨」や「新型コロナウイルス感染症拡大」など大きな災難に遭い「早期復旧」「ワクチン接種」「経済対策」に全力で取り組み、市民の皆さんに「安心」を届けるとともに、子育て・地域活性化・庁舎移転などにも着実に取り組んでまいりました。二期目は、「活かすまちづくり」で、観光振興や産業の活性化による交流人口と関係人口の増加や地域資源の高度活用など、誠実に愛する竹原市のため、市民と一緒に全力投球します。

今栄としひこの

「活かすまちづくり」

地域を活かす

広島空港や高速道路・新幹線駅に近く、温暖で自然に恵まれた竹原市の「地理的利点」で企業誘致や都市住民の移転・移住対策に活かします。

歴史・文化を活かす

塩田で栄えた「町並み保存地区」、ウサギの島「大久野島」や頼山陽・池田勇人・竹鶴政孝・今井政之を輩出した「自慢の竹原市」を観光や商業の振興に活かします。

人を活かす

高齢者の知恵と経験、若者の発想力、女性の行動力で「元氣な竹原市」の実現に活かします。

市民の声を活かします

浸水被害・土砂災害や感染症などの心配・不安の声に、柔軟で機動的な体制で、危機管理に取り組み、「安心の市政」に活かします。

【推薦】○自由民主党 ○公明党

第6次竹原市総合計画を実績と連携・信頼の下で誠実に進めてまいります。

- ◆竹原らしさ・賑わいの創出
- ◆子育て支援の充実・学びの場の提供
- ◆元氣な産業の育成・福祉の充実
- ◆生活基盤の整備と生活環境の確保

「水源保護条例」を制定します！

■竹原の自然の恵み「おいしい水と、自然」これらを守り、維持し、子々孫々に引き渡します。私達には、その責任があります。

「吉名・荘野は支所」で復活
「忠海支所」は存続！

■高齢弱者と地域コミュニティをサポートし、若者のいない超高齢化社会を守ります。また地域の困り事に、すぐ駆けつけます。

庁舎は、「移転より建て替え」を！

■今後予想される南海トラフ地震・津波と、豪雨災害。毎年繰り返される災害時の司令塔として、長期の収容避難場所・福祉避難場所として、市民の生活を守ります。高齢市民に対応する「防災・新庁舎」拠点は、未来への財産です。

竹原は「消滅可能性都市」です

■竹原は、消える自治体として7年前に宣告（認定）されました。しかし、それ以降も若者や子育て世代の転出は続き、急激な人口減が続いています。このままでは十数年後、竹原は都市機能を失います。このまま無関心で良いのでしょうか？

トップ営業で、町を変えます！

■今回、岸田政権の打ち出した莫大な「コロナ予算」は、竹原にとって最後のチャンスです。政府が進める事業、次世代のIT関連（DX）プロジェクトを誘致し、これらを育成すれば竹原の救世主となり得ます。私はこの一点に絞り、中央の人脈を駆使し営業をかけます。

■私は営業マンに徹し、公共事業や大型DX企業等を誘致し、竹原を「DX中核都市」に育てます。企業と雇用を増やし、人口を増やし、税収を増やし、お洒落で豊かな町を創ります。町を豊かにすれば、諸問題はすべて好転します。

私に、営業をさせて下さい！

shige-chan
web

もっと詳しく
ホームページ：shigefumi.jp

井上しげふみ プロフィール

昭和44年6月27日・吉名町生まれ（52歳）
吉名小学校・広大附属三原中学校・修道高校
慶応義塾大学 理工学部 卒業
平成6年 広島銀行
平成9年
土地家屋調査士・司法書士・行政書士

無所属

井上しげふみ

(52歳)



なかちゃんですけど、なにか？

竹原再生計画

一人回増計画

竹を基軸とした産業と観光で経済を立て直し、
と同時に市内全域に広がる竹林を整備し、災害に強く
本格的な日本庭園のような街づくりを行い
安芸の小京都を再生する。

中野 直樹 後援会 伴友会
725-8790
竹原市竹原町2495-29泉宮丸山住宅102
電話 080-8178-0611
メール nakachan19600611@gmail.com

なかちゃんのコットー

明るく、楽しく、気持ち良く。
気軽に なかちゃんと呼んでください。

竹原再生計画の概要

※岸田総理の政策の基本方針である「地方創生」「デジタル田園都市国家」を受け、国の補助金や助成金の制度を活用し、計画の実現を私のリーダーシップのもと、市民の皆さんや市議会、市の職員が一丸となって再生計画を強力に推し進め早期に実現する。

1. 竹原市認定ブランドの設立
竹原の語源とも言える市内に広がる歴史・文化・自然を「竹原ブランド」として、同時に資源として活用し、竹原市認定ブランドとしてあらゆる竹製品を製造し、世界を視野にネット及び百貨店などで販売し、利益を還元する。
2. 雇用・移住者への支援、市立産婦人科の設立
雇用の創出・移住者（特にUターン）への見込み支援、市立産婦人科の設立を同時に推し進める。
3. 観光産業の見直しによる経済効果の追求
●市街地に大型の格安な市営駐車場を建設し、市民も観光客も利用できる格安定額料金の大型バスを利用者に限りで巡回させ、駅地へのスムーズな移動と駐車場問題を同時に解消する。
●パンパー公園への大型旅館を誘致し、国内パシフィックの拠点とする。
●JR呉線のパンパー公園駅を開業し、新幹線との連携を図る。

現状の問題点の改善

1. 緊急車両の小型化
3年前に提言したことではあるが、市内各所に見られる狭い生活道路に対して現状の大型の消防車・救急車・パトカーでは現地に到着はできない。
特に高齢者・障害者・子供達を守るべく早急に行う。
2. 町名の変更・修正
市内の各所に点在する竹原町を含み適正な町名配置に時期を見て変更する。
個人情報を含め、位置の特定の基本となる住所をわかりやすく修正する。
3. コンパクトな市役所と併設した文化ゾーン
コンパクトな市役所と併設した文化ゾーンの実現及び市民によりそう出張所の強化
竹原市の顔として郷土の誇り歴史最高の総理大臣・池田勇人の銅像を庁舎正面に移設し、速やかに新庁舎の建て替えを行い、竹原美術館・図書館・市民館等の文化ゾーンと併設する。
また、市民の皆さんと関わり深い部門（市民課・税務課・福祉課など）を強化した支所を公民館などと併設し、公共サービスの強化、地域密着化を図る。
4. ゴミ収集袋のあり方
今年10月より値上りしたゴミ収集袋の価格の見直しを含めた今後のゴミ収集袋のあり方を検討する。
5. 斎場登り口の急坂の修正
冬場の凍結や狭い道幅の解消を行い、安全な経路を確保する。
6. その他
道路標示や規制・駐車場の表示、無料化などの使用を再検討し、わかりやすく利用しやすいものに変更する。

なかの
中野直樹
なおき
61歳。



ごあいさつ ～人口減 年間500人の衝撃～

私はこれまで多くの方に支えられ3期11年に渡り、竹原市議会議員として皆様の声を市政に届けて参りました。しかしながら「人口が年500人減少」する悲慘な竹原市の現状を打破してほしいと多くの方の声に応えるべく「竹原市の改革者」となる決意をいたしました。市議会議員として、会社経営者として、PTA会長として、地元住民として、市民の苦しみや災害現場で得た経験を、これからの市政に具体的に反映し、速やかに解決・実行して参ります。全世代の方が活躍できるよう、風通しのよい、「身近な市政」を目指し、市職員の士気向上に努め、「次世代に誇れる竹原市」にしていきたいと思います。

プロフィール

1968年（昭和43年）5月2日生まれ（53歳）
有限会社 高重瓦 代表取締役
竹原ライオンズクラブ 会長
広島県相撲連盟 副会長
竹原市軟式野球連盟 副会長
あゆみ会 会長（少年野球大会、まひろちゃん献血主催）
元 竹原市市議会 副議長
元 竹原市立中通小学校PTA会長
元 竹原市立竹原中学校PTA会長
元 竹原商工会議所青年部 会長

変えよう！竹原みんなの力で!!

先行投資で、未来を創造する

1 安全で安心に暮らせる 災害に強いまちづくり
①避難所兼防災センターを建設します。
(東野町国道432号バイパス沿線)

2 若者が定住できる 魅力あるまちづくり
①出産祝い金を10万円支給します。(現在は0)
②子育て支援の充実、15歳まで医療費無料化します。
(現在は12歳まで)

③の場西海水浴場の開発、オートキャンプ場、キャンプ場を建設します。

3 事業者支援で 活気あるまちづくり
①アフターコロナの3年間は商品券、イベント費に特別予算を計上します。
②産業団地を造成し、事業者を誘致し、雇用創出による人口増をめざします。
③衰退する農林水産業に補助金支援し、地産地消、食育を推進します。

4 文化・スポーツ振興で 健康なまちづくり
①散歩道、グラウンドゴルフ場を設け、市民の健康づくりを推進します。
②大久野島振興課を創設し、世界遺産を目指します。
③文化施設の建設について検討推進委員会を作り、財源確保に努めます。

5 教育推進による次世代を担う ひとつづくり
①ICT教育を推進します。
②産婦人科医療のための助成制度を創設します。

6 行政サービス向上による、住みよいまちづくり
①市民目線で市民のための政治を行います。
②庁舎移転問題を速やかに解決します。
③市政改革プログラムを速やかに実施します。



無所属

たかしげようすけ
高重洋介
(53歳)

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により印刷したものです。